

あらあ？  
もう終わりですかあ？

よっわ(笑)

ハンテあげても  
いいんですよ？

絶対負けない！  
(キリッ)  
てしたっけ？

プツ…W

悔しい？わえW  
悔しいですか？

キーン♪  
キーン♪キーン♪キーン♪

●学五年生相手にこのザマなんて、  
恥ずかしいと思わないんですか？

ツ…、このツ…

わからせてやるツ…!!

東北きりたん

R-18【コミヨリ】

カツ生意気な秋田のイキリメスガキが  
調子に乗って煽りまくってくるのを  
オトナの「凄さ」を「わからせ」る本



ADULT ONLY



あらあ？  
もう終わりですかあ？

よっわ(笑)

ハンデあげても  
いいんですよ？

絶対負けない！  
(キリッ)  
てしたっけ？

プツ…W

悔しい？ねえW  
悔しいですか？

キーン♪

キーン♪キーン♪キーン♪

●学五年生相手にこのザマなんて  
恥ずかしいと思わないんですか？

ツ…「このツ…

わからせてやるツ…!!

東北きりたん

R-18【コッソリ】

カソ生意気な秋田のイキワタスガキが  
調子に乗って煽りまくってくると  
オトナの「凄さ」を「わからせ」る本

ADULT ONLY

東北きりたん

ワソ生意気な秋田のイキリメヌガキが  
調子に乗って煽りまくってくるのを  
オトナの「凄さ」を「わからせ」る本



あらあ？  
もう終わりですかあ？

はい勝ちです！

K.O!!



ようわ(笑)

試合前の自信はどこに行っただんてですかあ？

口先だけ  
でしたねえw

なんてしたっけ？  
「オトナの凄さを見せてやる」  
でしたっけ？ 草生えませわw

ギョーッ  
ギョーッ  
ギョーッ

ツ……このツ……



このわたしが貴方みたいな  
冴えない人に負けるはずが  
ないでしょう？

憩  
泊  
6000円

ねえお兄さん…♡  
その休憩所で私と  
新作ゲームソフトで  
賭け勝負しませんか？

もしわたしが負けたらあ…  
なんでもしてあげますよ♡

勝負前の約束を聞いて  
息巻いていた様子は  
お笑いでしたよ

はー可笑しかったw  
ザコのクセにw

声かけたら  
勝てると思つてほいほい  
ノってきちゃつてw

あ、約束のお金置いて  
さっさと帰って貰えます？

わたしマンガの続きを  
読むのに忙しいので…

カチッ

ツのメスガキ…ツ!!





思い知らせて  
やる…ッ

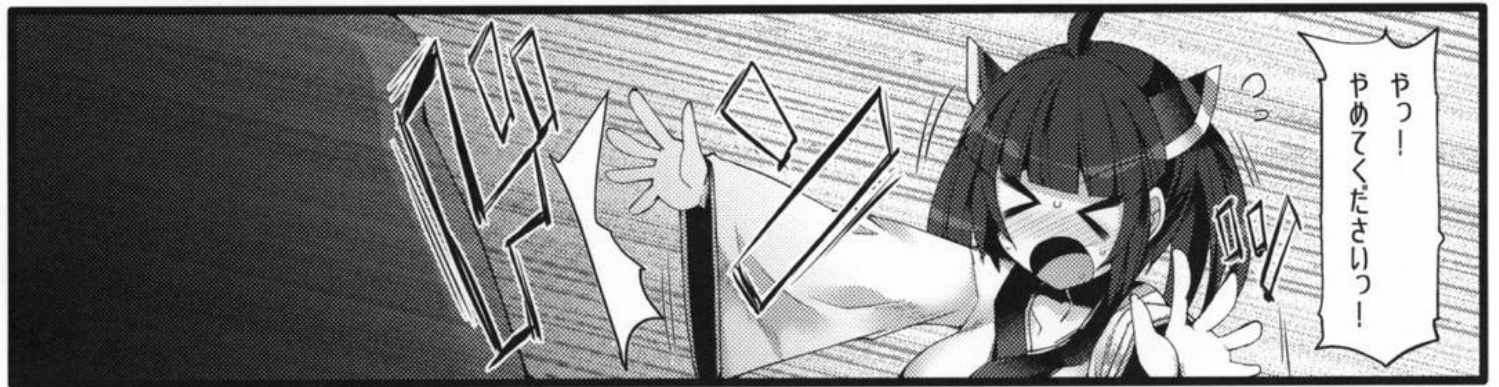
なんですか  
まだいたんですか？  
しつこいですよー



!?  
!?

んむっ!  
むうっつ

んんんっ!!



やっ!  
やめてくださいっ!



なにするんですか  
突然っ…!!

痛いなあ…

おとなしく  
しなよ





……っ  
何言ってる……

きりたんちゃんって  
おっぱい大きいよね



はあっ!?  
●学生相手にチカラづく  
とか最低……ッ

オトナに力で敵うはず  
ないでしょ



あ……ちよっ  
どと触ってる……

まぎゃー



ノーブラなの?  
やらしいなあ……

ッ……ハンタイッ

ん? 乳首勃って  
きてない?



も、もう離して  
くださいっ

いい加減にしないと  
人を呼びま——

つきやあつ

オトナを馬鹿にすると  
どうなるか  
わからせてやるッ



●学生のクセに  
エロい身体  
しやがって…

そっ  
そんなっ…



やああ…っ  
胸触られると  
身体があつくって…

も、もう胸…  
やめっ…



ふああ  
や、やめっ  
んんうううっ♡





頭が  
ぽわっとして…

あつ…!

ちよつと  
ソコはっ…!!

ぽわっ

ん?  
どうしたのかなあ?  
ここは何?



なのにこんな  
短いスカートで  
誘惑して…

何言ってるんですか!  
だからちゃんと  
スパッツ穿いて…



ココがエッチな  
場所なのは  
知ってるのかな?

こうるさい  
ですよっ!  
今ならまだ  
許してあげます

さっさと手を  
離して下さい!

そのスパッツが  
エロいって  
言ってるんだよッ!

んあああ♡

無自覚にむっちり  
太ももとピッチリぷにまん  
見せつけやがってッ

か

はあ

一丁前にまんこ  
濡らして…

あ♡あ♡

だめええ♡

指ギューギュー  
啜え込んでさあ

●学生のクセに  
まんこグショグショ  
にして…

スパッツ生地越しに  
エロい匂いムンムン  
してきたぞ



こんなエロいまんこには  
オシオキだな

ウソツッ！  
ダメダメダメ…

んはあああああ♡♡♡

ここからが本当の  
勝負だぞっ

おらっ  
子ンポに勝ってみろっ

つくそつ  
エロすぎるだろ  
このマンコっ!!

子ンポ突っ込まれて  
悦んでギユウギユウ  
締め付けてっ…



ゲームしてるときも  
チラチラ見せつけてきて…

スケベな身体で誘惑して  
ごめんなさいって言えッ

スカートの中わざと  
見せて気を散らせて…

ズルして勝ったのに  
調子にのって  
すいませんでした  
って言えッ

そうそんなんっ

ズルなんてしてな

しただろッ!

んほあああっ♡





しっしましたっ♡

ズルしてきこめんなさいっ  
調子にのって  
すみませんでしたああっ

だからもうあちんぽ  
抜いてえっ♡

おまんこスコバコ  
するの許してえっ♡

はいダメっ  
ゆるさないっ♡

そっ  
そんなああっ



こっこんなのっ  
勝てるハズないよあっ

チ、チートっ  
このあちんぽチート  
ですうっ♡♡



ムリっ  
ムリいいっ♡

こんなガチガチに  
かたくて熱くって…  
ぶっといオチンポあッ





あああ♡あつ♡あつ♡  
オツ♡イクイクイク♡

チートチンポに  
レイプされて  
イっちゃうううう♡

んあああああ♡  
オトナちゃんぽ  
しゅ♡こい♡い♡い♡♡

あまんこ何度も  
屈服させられ  
ちやうううううう♡

ん？きりたんイってる？  
ていうか実はさつきから  
何度もイキまくって  
るよね？(笑)

隠してるつもりかまだけど  
全身ビクビク震わせて  
マンコギユウギユウ  
締め付けてバレバレ♡



ま、負けちゃった…あ…

よおし…それじゃ  
約束通り言うこと  
聞いてもらうからな

はあ…はあ…

っ…やくそく…っ…





えっ!?  
こ、こいひとになれ…  
そ、それは…  
何でも言うこときくのは  
ゲームに負けたらの話で…



うるさいっ  
なれっ!  
さっさと  
恋人宣言しろっ!

んあああっ♡

わ、わかりましたっ  
なりますっ♡  
なりますっ♡♡  
貴方のこいひとに  
なりますっ♡♡



よし…舌だせ  
恋人の子ンポ  
キレイにしろっ



んふうじゆるれろっ♡  
じゅっほじゅっほっ♡

子ノポしやぶつて…  
好きにされちやうっ…

子ノポしやぶりながら  
物欲しそうにヒクつかせ  
やがって

この欲しがり  
マンコめっ

自分で子ノポ  
おねだりしてみる

子ノポおねだり  
しちやうっ…♡

わ、わかりました…



じゅっほ  
じゅっほ  
じゅっほ

んふう  
んふう  
んふう



んふう  
んふう

んふう  
んふう

うまく出来たら  
望み通り  
子ノポ入れてやるっ

んふう  
んふう

んふう  
んふう







きりたんとはもう  
恋人同士だから今度は  
種付けセックスだぞ!!

あちんぽスポスポ  
気持ちよすぎる  
うっうっ♡

んああああ♡♡♡  
あ♡♡♡♡♡♡  
こいびとセックス♡

種付けす♡♡♡  
子作りえっち  
激しい♡♡♡

たっっぷりナカに  
だしてやるからなっ

孕む準備しろっ







孕めええツツ！

子宮にチンポの凄さ  
「わからせ」られて  
イキ孕めツメスガキっ♡



おほほおああああーっ♡  
くるくるくりゅっっっっ♡

おっ♡おっ♡おっおっっ♡♡  
せーし注ぎ込まれてるっっ♡

生意気■リマンコっ♡  
大人おチンポ様に躑け  
られてますっっっっ♡♡

イキイキ

イキイキ

イキイキ

イキイキ

イキイキ

イキイキ

イキイキ





指オ...

どうだ？  
オトナの子カラ  
思い知ったか

あつ♡ほつ  
は、はいっ…オトナ  
チンポす♡いですうう♡

これからきりたんの  
スケベな■リまんこ毎日  
使ってやるからな

はいっ…これからは  
呼ばれたらスグに  
オマンコ提供しますう…

大人のあチンポ様で  
わたしのクソザコハメ穴  
毎日ホジってくださいい…♡



## あとがき

はじめましてのも、そうでない方もこの本をお手にとってくださりありがとうございます！

いやぁ…きりたん…いいですよ！

最初に見たときは、まさかこんなに(本をだすほど)好きになるとは思いもよりませんでした。

きりたんの追加EXボイス「ざござござあ〜こ」を聞いて急遽作り始めたこの本。プロットの際、兄様と甘々好き好きイチャラブわからせ?展開と最後まで迷ったんですが、今回はお怒りお仕置きわからせ本となりました。「わからせ」にも色んなカタチがあって、奥が深そうなジャンルなので、ぜひまたきりたんで挑戦してみたいですね！

機会があったら誘い受けきりたんからの甘々イチャラブわからせ本も描きたい気持ちはありますが、それよりも要望が多ければ、今回の本とは真反対の内容の、逆転なしのメスガキきりたんにひたすらわからせ「られる」漫画も描いてみたいですね…！

実は今まで一度も描いたことがない「M向け」ジャンル。もし見てみたい方がいらっしゃいましたら、ぜひTwitterやPixiv、メールなどでご連絡下さい。この本のご感想等もお待ちしております！

マキさんや茜ちゃんなど、まだまだ描いてみたいコもたくさんいて、今後もまったりのんびりとボイロ同人誌を描いていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくおねがいします。

このあと素敵なゲスト原稿を頂いておりますのでぜひこちらもお楽しみ頂ければ幸いです。それではまた次のボイロ本でお会いできることを願って！

2019年8月 Stapsats 翡翠石

## あくづけ

発行サークル：Stapsats

執筆：翡翠石(ヒスイ)

誌名：クソ生意気な秋田のイキリメスガキが調子に乗って  
煽りまくってくるのでオトナの「凄さ」を「わからせ」る本

発行日：2019/08/11

印刷所：ねこのしっぽ

PixivID：1473639

TwitterID：hisui\_spats

E-mail：spatz@hotmail.co.jp

※18歳未満の方の購入/閲覧を禁止します。

無断転載/複製複写/Webへのアップロードを禁止します。



(どうして私はこんなところでこんな格好をしているんだろう……)

私は、思い出してみる——思い出すのにも、少しエネルギーが必要みたいだった。コッショリ買い物に行った帰りに女の人に声を掛けられて……そう、その人は、どうやらアイドルのスカウトだったらしくって。

その人とずん姉さまの話をして、……それから、ええと……。

……

何人もの男達と何台ものカメラに取り囲まれた小さなアルミ製の演台の上に、一人の少女が立っていた。全身を白で統一した衣装に、しっとりとした濡れた肌。それらがスポットライトを浴びて照り輝き、未発達ながらも丸みを帯びた——少女的なフォルムを浮かび上がらせていた。

そう、彼女は半裸だった。衣装が、衣装としての体を成していなかった。

それは水着と呼ぶのもおこがましいデザインのマイクロビキニで、胸と股間、三箇所配置された三角形は、少女の小さな掌——否、拳程度の大きさも無いくらいだ。膨らみかけの双乳に吸い付く、滑らかな光沢を湛えた生地中央には、少女らしく可愛らしい突起がその存在を誇示していた。

腕や脚は露出こそしていないものの、ロンググローブやサイハイソックスに包まれていて、形は露であった。それも薄手で、張り詰めた部分ではほのかに肌色が透けて見えるほどだった。肉と生地の境に刻まれた溝によって、少女の身体がふにと柔らかなのが誰からも分かる状態だった。

「それじゃあ、次は腰を振ってみようか」

「こうですか……?」

ヒールの高い変形草履を、カツカツと鳴らしながら。恥じらう素振りも見せずに、クイ、クイ、と腰を前後に振ってみせる少女。ふらふら熱病に浮かされたように頬を上気させ、視線は虚ろに宙を泳ぎ、吐息も粗く熱を孕んでいた。何らかの原因で判断力が鈍っているのは、一目瞭然だった。

「そう。手は頭の後ろ、笑顔とバランスを崩さないように」

「よっ、ほっ、はっ、ほっ ……えへへ」

「そうそう。次は脚を開いてガニ股の状態。イチ、ニ、イチ、ニッ」

「いっちに、いっちにっ……。あの、これ、何か意味があるんですか?」

リズムカルに腰を振る少女から漏れた当然の疑問に、周囲の男達は困惑したようだった。互いに顔を見合わせ、ボソボソと何か確認している。

(ちよつと、ちゃんと薬効してるの?)

(大丈夫大丈夫、適当に誤魔化しとけ)

「お姉さんと一緒にステージに立ちたいんでしょ? だったらまずはきりたんが頑張らないといけないんだよ」

受け答えとしては成立していないが、少女は納得した様子で——しかし虚ろな眼差しのまま——応えた。

「はっ。そうでした」

……

時は一時間程遡り——きりたんは女性と喫茶店でお茶をしていた。

「——姉を紹介しますってば。私より、魅力的ですよ。特に太ももとか」

「あ、それじゃあさ。いっその事、姉妹アイドルっていうのはどうかな?」

「はい?」

「アイドルデユオ。お姉ちゃんの隣で、太もも見放題」

「わかりました。やりましょう」

「じゃあ、スカウト経由の特別オーディションに参加してもらって——」

……

「よっ、ほっ、ほっ、ほっ」

哀れ、少女は今、愛する姉を同じ目に合わせる為に卑猥なダンスを踊っているのである。蒸し暑い部屋の中、ガニ股ビキニ少女の汗ばんだ肌がキラキラと光を散らす。

「足腰は合格だね。じゃあ最後に総合力テストをするからね。頑張って」

「はあっ、はあっ……はいっ!」

「前の画面に文章が表示されるから、ポーズを崩さずに読み上げてね」



「このポーズのままですか？」

「そう。ガニ股はキープだよ。そして、このロープを脚の間にくぐらせて引つ張るから、それと逆の方向に腰を動かすんだよ」

男達の手によって、少女の股下へ可愛らしいピンクのロープが通されていく。しかし形状は全く可愛らしくない。シリコン製のそれは、表面がイボイボになっていたり所々コブになっていたりと、不思議な形をしていた。それが、演台の前後に設置された滑車に通され、陰阜のちょうど真ん中——ビキニの生地がやや窪んだラインへ当たるように張り詰めさせられた。

「二つを同時にこなして、初めて一次審査合格だからね。音読も腰振りも、ノリノリだね。ハイ、じゃあ始めるよ」

「ひんっ♥」

きゅっ、とロープが前へ引つ張られ、陰裂が圧迫刺激を受ける。初めての——そして強力な性的快感がゾクリを背筋を震わせ、思い切り腰を突き出してしまった。しかし、これでは方向が逆である。

「んお……っ♥ し、しっかりしなきゃ……っほ♥」

気合でお尻を突き出す少女。ロープが滑るたびに、ヌルヌルと股の中心に食い込んでいく。ローションのようなもので濡れているようだった。

ヌルヌル・キュッ、きゅきゅ！

「よっ♪ ほっ♪ こんにちはっ♪ ガニ股アイドルのっ♪ きりたんていす♪ んほっ♥ よ、よろしくねっ♥」

薄布ごしに陰裂をしごかれる快楽に、裏返った声が漏れてしまう。しかし健気に、少女は与えられたタスクをこなしていく。

「ん♥ ふうっ♥ 今日はっ♪ オーディションとっ♪ 言うことどっ♪ カメラの前でえっ、おっ♥ 私の、特技っ♪ をおっ♥ 披露っ♪ ほっ♥ しちやい、まあ……んう♥ しちやいますっ♪」

ぎゅる、ぎゅる、ずりゅん！ ずりゅん！

声は震え、目は潤み、鼻息も粗くなっていく。快楽に眉根をきゅっど寄

せた狂おしい表情で、少女は続ける。

「おまんこぎゅーぎゅーってされてっ♥ スケスケちくびピンだちさせてえっ♥ ほっ♥ ほっ♥ カメラのまえでえっ♥ こしカクアクメダンスっ♥ しますっ♥ しますうっ♥」

オナニーすらしたこともない初々しい陰裂に、シリコンロープの性的刺激は強烈すぎた。——こんな『気持ち良い』は、初めての体験だった。何を我慢しようとしても、どうしようもないくらいに。下腹部は煮えくり返り、涙まで流れてしまう。

ずりゅ、ずりゅ、ずりゅ、ずりゅ！

限界は早くも訪れた。腰を懸命に振りながら、少女はディスプレイに表示された『二文字』を読み上げる——。

「おっ♥ ゴっ♥ イクっ♥ あっあっイクイク♥

♥ イクイクイクっ♥ お♥ お♥ イクイクイクイク——」  
グインツッ！——激しい絶頂に達した少女の背が、大きくのけぞる。顎を突き出したまま、白目で天井を見詰め、少女の肉体は全身硬直した。

——ずりゅりゅ！ ずりゅりゅ！

少女が完全に停止し、瞬間、動いているものは、シリコンロープのみだった。鋸のように前後し、絶頂のさなかにいる陰裂を無慈悲にえぐり返す。

ビクビクビク！

少女の身体は、硬直から解き放たれるや否や、細かく激しく痙攣した。腰はロープに擦られるままに高速で前後し、呼吸も浅く速く変化する。

「んっほおおおおおお♥ おイゲッ♥ んいッゲっ♥ にやにこれええええ♥ しんじやうしんじやうっ♥ んほっ♥ んほっ♥ あたまばくはっしちやううううっ♥」  
ビクビク！ ビクビクッ！

真つ赤な顔で少女が絶頂に跳ねるたびに、野太いビブラートが部屋中にこだまする。涼やかで可愛らしかった声は、今やどこにもなかった。







STAPSPATS